「平和と人権」市民ネットワーク情報 No.23-5（通算 97 号）

事務局発行（TEL 0557-45-1182） http://peaceito.moo.jp 2023.5/11

5/3 憲法記念日

五月晴れ、集会・パレード賑わう

◆憲法施行 76 年の憲法記念日。いつも以上にたくさんの人が松川公園に集い、平和憲法擁護の声をあげました。「守る自衛隊」から「攻める自衛隊」へと安全保障政策が一変し、他方では衆参の憲法審査会では憲法改正案の取りまとめが進行し、平和憲法を取り巻く状況はますます厳しさをましています。この状況に心を痛め久しぶりに集会に足を運んだ人や、初めて参加したという人も少なくありませんでした。松川公園には昨年の憲法集会を上回る 50 余名の方が集い、「軍拡反対！9 条を変えるな！」の思いを共にしました。小さなお子さんと一緒に参加したママさんもいて、会場の雰囲気を賑やかに、和やかにしました。五月晴れの下、5 月 3 日の松川公園は旗も幟も人も色とりどりでした。

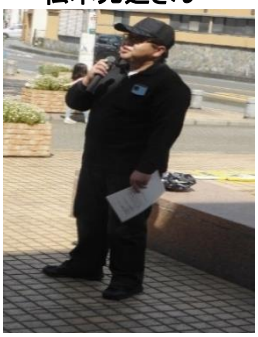
伊藤廣光さん

世論調査では、国民は必ずしも憲法改正を望んでいない。国民の声を力に反対運動を頑張ろう。

犬飼このりさん

４月の県議選では多くの人から支持と激励を受ました。**声をあげれば**必ず政治は変わります。

松本元延さん



今日の憲法記念日にも大多数の人は無関心だ。憲法は人々の生活と関係ないのだろうか。

田中秀幸さん

沖縄には日本の基地の６割が集中していることを知るべきだ。

山口光仕さん

日本や国民を主語とする語りではなく、一人一人の多様な思いに耳を傾けよう。

黒田一葉(かずは)さん

平和な社会を脅かし、戦争の危険を１ミリでも高める９条の改正には反対です。

◆スピーチを終えて、集会決議文を採択。最後は佐藤龍彦さんがリズムよくリードして全員でコールを上げました。集会の後は市内パレード。好天に恵まれ、老いも若きも気持ちよく行進、市民に平和憲法の大切さを訴えました。

集会決議文

岸田首相は戦争準備のため、大軍拡と大増税路線を暴走し始めています。

「“大軍拡・大増税”に理解をしてもらわなければ、国民の安全は守れない」とまでテレビ番組で言っています。大軍拡で国民の安全の何を守れると言いたいのでしょうか。

岸田首相は軍備拡大による「抑止力」「専守防衛」を口にし、敵基地攻撃能力を反撃能力と言い換えて、他の国を射程に置くミサイルを配備しようとしています。

そして、２４年度予算案に取得費２１１３億円を計上し、日本から敵基地攻撃が可能な巡航ミサイル「トマホーク」をアメリカから４００発購入することを明らかにしました。

岸田首相はバイデン大統領から「歓迎」されたと誇らしげに報告していますが、これまで米軍の役割としてきた「矛」を日本が担い、その装備をアメリカの言い値で購入し米軍需産業に“貢献”するのですから歓迎されるのも当然ではないでしょうか。

一方で、岸田首相は、自民・公明・維新の会・国民民主の改憲勢力が衆参で３分の２以上の議席を確保していることを背景に改憲の流れに拍車をかけようと、衆参の憲法審査会を動かしています。

しかし、大軍拡・大増税への道をすすもうとする一方で、物価高で苦しむ 国民生活には有効な手立てを打とうとしない岸田首相に対する国民の批判は強く、憲法審査会は岸田首相の思い通りには進んではいません。

決議文を読み上げる
宮崎美和子さん

３月に２回開催された衆院憲法審査会では、自民党・公明党とともに、日本維新の会・国民民主党が改憲に前のめりです。論議の議題になったのは、憲法への緊急事態条項の新設です。自民党は論点整理の議論の加速を訴え、改憲をめざす３会派は条文案作成を主張しています。

これに対し、立憲民主党や日本共産党は、「憲法を変えなくとも対応できる。緊急事態と称して政府に権力を集中させ、国民の権利制限を強化しようとするものだ」と批判しています。

憲法をふみにじり、戦争ができる国づくりが進められていますが、今すべきことは、憲法をいかした政治に転換させることではないでしょうか。

私達は、岸田首相がねらう憲法改悪と大軍拡・大増税を許さない闘いを推し進め、戦争国家への道を阻止するために闘います。以上、決議します。

2023 年 5 月 3 日　伊東憲法集会参加者一同

地区９条の会，始動する

4/9「伊豆高原９条の会」、発足集会

「伊豆高原９条の会」が４月９日発足しました。「伊東市民アクション」は、「安倍９条改憲ノー」から、菅（すが）、岸田と続く「９条改憲」「大軍拡」に反対して、観光会館前で、毎月 19 日行動を続けている団体ですが、その呼びかけにこたえて、伊豆高原、富戸の地域に会を作ろうと準備を進めてきました。

伊豆高原にお住いの絵本作家田島征三（たしませいぞう）さん、この方は、東京日の出町の「ゴミ処理場」のことで住民運動をずっと続けている方です。「芸術家９条の会」などにも入られていて、この方がこころよく代表世話人を引き受けてくださることになりました。お忙しい田島さんの都合に合わせ、４月９日、設立総会が行われました。

田島征三さんに「記念講演」をしていただくことも決まり、地域の皆さんに知らせることが大事と、お知らせのチラシを、日曜版に折り込み、さらに呼びかけ人などが手分けして、ポストインも行いました。

そして、当日を迎えました。会場の八幡野コミセンは、選挙の投票所にもなっていて、投票がてらという人もいたのか、かなり早い時間から、会場をのぞく人がいて、あれっ、これは参加者多いかもしれないと、あわてて、他の部屋から、いすを運び込んだりしてうれしい誤算となりました。

当日の参加者は、41 名、田島さんが書かれた絵本を手にしながら「平和」への思いなどたんたんと、時にあつく語っていただきました。会の主旨や、運営などの提案も行い、参加者からのご意見などもいただき、お帰りには入会申し込みも書いていただきました。

当日の入会者は 33 名でした。その後今日までの入会者は 38 名となっています。

４月 25 日に、世話人会を行い、９の日行動をしていこうと相談しました。

入会者に５月９日の行動をお知らせして、まずは第１回目の取り組みを行おうと準備をしているところです。

3/27 第３回「川奈・吉田９条の会」

◆3/27、川奈にお住いの K.M さんに平和や憲法について思っていることを語っていただきました。K.M さんは 40 歳台前半の主婦です。以下、質疑を含めた当日の話し合いの記録です。

Ｋ．Ｍさんの話

昨年のクリスマス礼拝の時から川奈聖書教会に参加した。中学１年の子どもが教会塾に通っている。普段、家ではテレビをつけない。子どもの虐待の画面など子どもに見せられない。伊豆新聞はハッピーな記事が多いのでよく読む。ニュースを見ると何かしなければと思ってしまって、それが子どもに影響するのが怖い。

ウクライナの子どもたちを支援できないかと思って、昨年藤の広場で行われたマルシェに出店した。「クリスマス休戦」を呼び掛け、傘に絵

をかいて販売し、売り上げの 9 千円をカンパした。9 条に関わらないことかもしれないけれど。

小学生の時に、君が代や日の丸に反対する先生がいた。なぜ歌わないのかよくわからなかった。深く考えなかった。

この会が 9 条を守る会だと知って安心した。憲法前文を読んで素晴らしいと思った。変える必要はないと思う。75 年間守られてきたのはなぜだろう。国民が無関心だったせいか。象徴としての天皇の存在もある。昭和天皇は表情のない人に見えた。平成天皇は自分の意志で慰霊の行動を行った。

山口

憲法前文が素晴らしいと思ったというのが嬉しい。どんなところが良いか。

K.M

中盤以降。「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼する」とか、「全世界の人が平和のうちに生存する権利を有する」とか、「世界に誇れる日本国民となる」など。

三好

それぞれの人の 9 条への思いを語ってくれませんか。

富岡幸子

9 条は悲惨な戦争体験から生まれた。空襲の怖さ、ひもじい経験、戦争だけは嫌だ。父はヒロシマの近くの基地にいて、原爆後ヒロシマに入った。そのことは詳しく話さなかった。放射線によるガンで亡くなった。K.M さんは周りの人と 9 条や憲法のことについて話をしますか。

K.M

周りの人とは話さない。あまり関わりたくない。平和の問題を子どもたちにどうつたえたらいいかと考え、絵本を作っている。

藤田

どちらかというと右翼っぽい少年だった。働く中で労働組合の一員となり、デモにも参加するようになった。憲法については、いろいろ学ぶ中で、「権力者を縛る」ものだということが分かった。それなのに権力者が憲法改正の旗を振っているのはおかしい。

河田みつえ

戦争の実体験はない。母親になって戦争はダメだと実感するようになった。

藤田

改憲派も戦争反対では一致している。彼らは国民の安全を守るため軍備が必要で憲法を変える必要がある、といっている。しかし、武力によって国を守る必要がないようにするにはどうしたらいいか、と考えるべきだ。

河田光博

今のロシアの軍事侵略を止めるのは結局武力しかないのか。

山口

軍事侵略の前にどれだけ外交を尽くしたかが問題。クリミア併合の時、どんな外交努力があったのか。

三好

他国を侵略する要因として、国内的には独裁権力の樹立、対外的には相手国に対する歴史的な優越意識、差別意識がある。

K.M

日本は少子化が進んで、兵隊がいなくなり、戦争したくてもできなくなる。9 条改正は絵に描いた餅だとおもう。75 年間守り続けてきた憲法はこれからも守り続けなければいけないと思う。戦争する国ではなく、世界から愛される日本、愛される日本人でありつづけなくてはいけないと思う。

※この後 K.M さんが自作の絵本「なぜなぜ何での昔話」を朗読して終わった。

★次回の「川奈・吉田 9 条の会」

・5 月 29 日(月)10:00～、川奈聖書教会にて

・中村哲さんの DVD「**荒野に希望の灯をともす**」

（同封 or 添付の案内を参照）